

# 令和6年度 一般選抜入学試験（前期）

## 小論文

### 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は表紙を含めないで2ページあります。解答用紙は3枚です。  
下書き用紙は1枚あります。  
試験中に、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 3 試験開始の合図があつたら、まず、すべての解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
- 4 解答はすべて解答用紙のそれぞれの解答欄に記入してください。
- 5 試験時間は90分です。
- 6 解答用紙は記入の有無にかかわらず、持ち帰ってはいけません。
- 7 この問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

次の文章を読んで、問いに答えなさい。

ラジオでも鞆でも、自転車でも同じです。①この世に存在するもので、壊れないものはありません。

「もうさんざん使ったし、新しいものを買ったほうが安上がり」というのが世の流れかもしれませぬ。捨てることは簡単ですし、誰も文句を言いません。

それでも僕は、壊れたものを修理して使うほうが好きです。ものは壊れるという大前提があるから、そこがスタートだと思います。処分したり新品と交換するのではなく絶対に直そうと決め、手をかけて修繕することで、ようやく自分のものになっていく気がするのです。

人とのつきあいもこれと同じです。ぶつかり合って摩擦がおき、壊れたりひびが入ったときがスタートだと思っています。

なごやかにしているだけのかかわりなど、浅いものです。トラブルが生じ、気持ちをむき出しにして傷つけあい、これまでのつきあいが壊れたとき、初めてその人との関係が始まるのです。

人の気持ちはものより壊れやすく、何回でも壊れます。そのたびに僕たちは、分かれ道に立つことになります。

いさかいから逃げ出し、この人との関係を捨ててしまおうか。それとも、ひるむことなく正面から向き合い、②ケンメイに③タンホンに関係を修繕しようとするのか――。

僕はいつも後者を選びます。それはものを直すのと同じく、いや、はるかにタフな試練ではあります。④テイサイのよい顔をかなぐり捨て、言にくいことも恥ずかしいことも言葉にし、ときには子どもみたいに泣きながらその人と向き合う。これは生半可な気持ちではできません。

それでも傷やほころびがていねいに直されたとき、きつと関係は一段と深く、豊かなものになっているはずです。おだやかで満ちたりた気分が味わえるはずです。

豊かさとは目に見えるものではなく、そこに隠された物語だと思っています。

たとえば十年も修理を繰り返して履いている靴は、僕にとってただの靴ではありません。最初にかかどが磨り減った旅の思い出、数年後につま先の縫い目がほころびたときの出来事、そのたびていねいに縫い直してくれた職人さんの心、そんなあれやこれやが詰まった宝物です。誰にも話さないけれど、自分だけの物語が宿れば、どんなに高価な新品よりも価値があるのではないのでしょうか。

人とのかかわりも、「あんなこともあつたけれど、自分たちは乗り越えてきたな」と思いつける出来事があればあるほど、豊かになります。

恋人時代から一度も喧嘩をせず連れ添っている夫婦がいたら、なんだかさびしいし、不思議な気がするの僕だけでしょうか。

ものは⑤ケイネンレッカで磨り減ることもありますが、人とのつきあいの場合、馴れ合いになって摩擦が起きないことのほうが危険です。

壊れることが大前提だと思えば、真正面から相手にぶつかっていくこともできます。

大勢ではなくても、そんな相手が何人かいれば、豊かな人生となるはずです。

(松浦弥太郎著『今日もていねいに。暮らしのなかの工夫と発見ノート』株式会社P H P研究所)

問一 傍線部①について、最も意味内容が近い四字熟語を以下の選択肢から一つ選びなさい。

ア 春宵一刻

イ 空中樓閣

ウ 解語之花

エ 諸行無常

オ 羽化登仙

問二 傍線部②、⑤のカタカナを漢字に直し楷書で丁寧に書きなさい。

問三 二重線部はどのような意味ですか。本文の内容に即して二〇〇字以内で説明しなさい。

問四 波線部はどういうことですか。本文の内容に即し、自分のこれまでの体験をとりあがながら三〇〇字以内で説明しなさい。

問五 点線部の筆者の見解についてあなたはどのように思いますか。賛否を明確にし、自分の体験をもとに四〇〇字以内で述べなさい。